

泗川市

受信者 帰郷祈念碑 建立実行委員会代表 黒田福美

題目 帰郷祈念碑 現状復帰 及び、公式謝罪要求に対して

-
1. まず貴下の健勝をお祈りいたします
 2. 帰郷祈念碑に関連し、仕方なく解体するしかなかった泗川市文化観光課-6367 (2008.5.14)号としてお知らせいたし、
 3. 帰郷祈念碑建立に対する貴下の純粹なる意を受けて、当市において敷地の提供をいたし、その後、帰郷祈念碑を建立致しましたが、貴下もご存じのように 2008年5月2日、帰郷祈念碑が建立されて後、地域世論の悪化と帰郷祈念碑建立に反対する市民や団体などの市庁抗議訪問と建立に反対する意見が我が市ホームページに上がるなど、日ごとに攻勢を増すなか
 4. 除幕式前日に建立を反対する市民達の集団的な動きがあり、やむを得ず除幕式挙行をすることができなくなると共に、帰郷祈念碑を解体するしか無くなったことを十分に納得ゆくよう説明致し、
 5. 除幕式は開催できませんでしたが、当日帰郷祈念碑建立現場訪問時、ご覧のように帰郷祈念碑を即刻撤去しない当市を非難し、即時撤去せよとの市民達の集団的反発を直接目撃したことで分かるように、帰郷祈念碑は自体の安全を担保することが出来ないこととなりました。
 6. その後、帰郷祈念碑建立に反対する市民達の継続しての強い撤去要求があり、撤去して破砕し処理しろとの要求などがあり、また市民達の動きも危惧されるなか、やむを得ず当市としては帰郷祈念碑が毀損されぬよう、そのまま解体し安全な場所に保管いたしました。
 7. 当市としては帰郷祈念碑解体が私有財産の毀損よりは帰郷祈念碑の安全のため、やむを得ない処置であり、貴下の理解を求めると共に、当市としても解体を残念に思うところであり、反面では当市の立場を全く考慮しない貴下を淋しく思います。
 8. 貴下が故卓庚鉉及び、泗川出身太平洋犠牲者達の靈魂を慰労し、未来指向的な韓日友好関係の為にことではありましたが、過去の韓日関係に対して私達韓国人の立場が変化せず、いまだに成熟していない状態において、当市の支援によって原状復帰は難しいと思います。最後に解体するしかなかった当市の立場をもう一度理解していただきたく願いつつ、貴下の今後の健勝をお祈りいたします。